

神戸女学院大学入学試験 出題の意図

○公募制推薦入試、一般選抜（入試種別、日程を記載していない場合は各日程共通の内容です）

英語	英語試験の目的は、志願者が大学レベルの英語科目を履修するために必要な基礎的な英語力を備えているかどうかを評価することにあります。本試験では、英文を読み、その概要や要点を正確に把握する読解力に加え、本文中の特定箇所の意味を適切に解釈する力を測定します。さらに、頻出語彙や慣用句の知識、基本的な文法事項の理解についても評価の対象とします。 The purpose of the English examination is to assess whether applicants have sufficient command of basic English skills to succeed in college-level English courses. The examination will evaluate applicants' ability to read and understand the gist of a reading passage, as well as their ability to identify and interpret the meaning of specific parts of the text. In addition, the examination will assess applicants' knowledge of high-frequency vocabulary, idiomatic expressions, and basic grammatical knowledge.
国語	◆ 現代文（論説文・小説） 文章の内容や論理構造・段落の役割・筆者の主張・理由付けの関係、具体例が文章全体の中で果たす役割等を正確に読み取る基礎的な読解力を確認します。 本文全体の構造を意識し、登場人物の心情や関係性を正確に把握するとともに、比喻や象徴といった表現技法を理解し、主題を読み取る総合的な読解力を確認します。 語彙・表現の理解力を確認し、文脈に応じた語句の適切な解釈や接続語や指示語の用法の理解、基礎的な抽象語や概念の意味理解等を問います。 基礎的な文学史に関する知識を問う場合があります。 ◆ 古文 基礎的な語彙・文法・古典常識に関する知識を確認し、文脈理解を踏まえて登場人物の心情や場面の流れ等を読み取る力を問います。 基礎的な文学史に関する知識を問う場合があります。
世界史	本問題は、本学のアドミッション・ポリシーに基づき、高等学校段階で修得すべき世界史に関する基礎的な知識・技能を前提として、歴史的な事象を多角的に捉え、考察するための思考力・判断力・表現力を評価することを目的とする。出題にあたっては、各地域・各時代の歴史的な事象の背景や因果関係を理解し、政治、経済、社会、文化などの諸側面を相互に関連づけながら考察する力を重視する。また、史資料や地図、図表などを適切に読み取り、現代社会の諸課題との関連を複合的な視点から論理的に考察する能力を問う。さらに、多様な地域や文化への理解を基盤として、歴史的背景を踏まえながら主体的に学び続ける意欲と姿勢を備えた人材の選抜を意図している。

日 本 史	「日本史探究」の範囲内で、教科書を理解し、基礎的な知識を有しているかを問うとともに、史料を読み解く読解力・思考力・判断力を確認することを目的として出題しています。 設問数：大問題4問（Ⅰ～Ⅳ）、大問題1問につき小問題10問 対象とする時代：原始・古代・中世・近世・近代・現代の全時代 分野：政治・経済・社会・文化などの諸分野
数 学	（公募制推薦A日程） 数学Ⅰ・Aにおける基礎的な知識・技能の定着を確認するとともに、それらを適切に活用して問題を解決する力を評価することを出題のねらいとする。基本事項を正確に理解し、計算や処理を正確かつ効率的に行う力に加え、与えられた情報や条件を整理・関連付けながら論理的に考察し、適切な解法を選択して結論を導く力を問う。また、一連の問題解決の過程を通して数学的に考察する力、数量や図形の性質を適切に捉えて判断する力、及び既習事項を総合的に活用する力を評価することを目的とする。 （一般選抜前期A日程） 数学Ⅰ・A・Ⅱ・B・C（ベクトル）における基礎的な知識・技能の定着を確認するとともに、それらを適切に活用してやや発展的な問題を解決する力を評価することを出題のねらいとする。基本事項を正確に理解し、計算や処理を正確かつ効率的に行う力に加え、与えられた情報や条件を整理・関連付けながら論理的に考察し、適切な解法を選択して結論を導く力を問う。また、一連の問題解決の過程を通して数学的に考察する力、数量や図形の性質を適切に捉えて判断する力、及び既習事項を総合的に活用する力を評価することを目的とする。
生 物	本学の教育課程を履修するために必要な、高等学校卒業相当の基礎学力が身についているかどうかを測定します。生物では、必ずしも難解な知識や思考力を問う出題ではなく、高等学校の学習指導要領に沿い、「生物学の基本的な概念や原理・法則を理解しているか」「科学的な見方や考え方が身についているか」「科学的な自然観が育成されているか」について、また、基本的な用語や事項を理解しているかどうかを評価します。
化 学	神戸女学院大学の「化学」試験は、高校で学習する「化学」および「化学基礎」の内容を確実に理解し、基礎的な知識を適切に活用できるかを評価することを目的としています。出題は教科書レベルの知識に基づく問題が大半を占めます。元素や物質の構造・性質、結合、化学変化、反応の量的関係、酸・塩基や酸化・還元の性質など、教科書で扱う基礎事項をもとに、基礎知識に基づいて正しく解答する問題、計算問題などを通して、基礎力の定着を確認します。また、誤答選択問題では、問題文から必要な情報を正確に読み取り、論理的に判断して解答を導く力も重視しています。暗記に依存するのではなく、現象の理由を理解し、落ち着いて対応できるかを問う構成としています。これらを通じて、大学での学びを深めるために必要な基礎学力と科学的思考力を総合的に評価します。

○小論文

（文学部 総合文化学科） 小論文	与えられたテーマについて多角的に考察し、根拠に基づいて自らの見解を筋道立てて述べ、論理的に構成する力を評価します。 事実と意見を区別して述べること、自分の立場を明確に示すこと、自分の言葉で表現すること、独自の視点をもって論じることができているかどうかをはかります。 テーマによっては、社会問題・時事・学問分野の基礎的な知識の適切な使用を求めます。読み手に伝わる明快な文章構成ができているかを重視し、誤字脱字の有無や文法、語彙の適切さ、接続の自然さといった文章表現力も評価の対象とします。
（心理学部 心理学科） 小論文	本試験では、心理学の学びの土台となる、人間や心に関する問題への関心や感受性、多様な立場や価値観を理解し受け入れる力、客観的かつ論理的に考える力、そして自らの考えを論理的に表現する力を問うことをねらいとします。
（生命環境学部 生命環境学科） 小論文	本問題は、環境問題を自分の生活に関わる身近な問題として捉え、社会の変化と自らの生活との関連を考える力を評価することを意図している。文章を読み、その内容を理解した上で生活との関連を説明する力、および環境問題に対して自分にできることを考え、主体的に行動を考える力を問う。知識だけでなく、課題を自分事として捉え、考えを表現する力を評価する。